

学 校 教 育 診 断 表 の 集 計 と 考 察

甲 南 小 学 校

平素は学校園の教育活動にご支援、ご協力いただきまして、厚くお礼申し上げます。
さて、先日アンケートをさせていただきました、学校教育診断表（アクティブ・ラーニング等）
の集計等ができましたので、公表させていただきます。

【 児 童 】

- 1. 友達が発表しているときは、最後まで聞いている。
- 2. 先生や友達は、最後まで発表を聞いてくれる。
- 3. 先生は、分かりやすい授業になるように、色々な工夫をしてくれる。
- 4. 授業中にペアやグループで話し合うことが楽しい。
- 5. プロジェクターを使った授業は分かりやすい。
- 6. 授業中に自分がパソコンを使って勉強することは楽しい。
- 7. 図書館の資料を使って調べる学習が好きだ。
- 8. みんなの前で発表することが好きだ。
- 9. 係や班、委員会の仕事をするとときに、意見を言っている。
- 10. 話し合いの時、みんなと同じくらい話している。
- 11. 相手に聞こえるような声で話している。
- 12. 分からないことは、質問する等して解決した。
- 13. 授業で自分の分からなかったことが分かるようになった。
- 14. 授業は楽しい。

（ 全 体 ）

	A	B	C	D
1	190	144	9	3
2	222	102	18	3
3	291	37	11	4
4	248	63	26	9
5	257	71	15	3
6	297	35	11	3
7	192	99	42	13
8	126	115	83	20
9	166	101	53	26
10	186	115	37	7
11	244	81	17	1
12	166	131	39	8
13	227	90	21	7
14	226	89	21	11

- ・項目1・2・11が高評価であったことから、友達の発表を聞く姿勢がどの学年も身についている。
また、友達に意見を伝えようとする他者意識も持てている。今後も、継続して指導するとともに、
友達の意見を踏まえて考えを深め発言できるように指導していきたい。
- ・項目3で、C・Dにチェックをつけている児童はほんの数名だが、こういう子たちこそ、救いあげ
る細かな配慮が必要なのだろろうと感じた。
- ・項目4でC・Dに4年生以外の各学年約1～2割にあたる児童が居ることも同様に改善すべき点
であると感じた。
- ・項目5から、プロジェクターを使い、視覚的に子どもにうったえる授業は子どもたちにとって分か
りやすいようだ。子どもが深く考える授業を行なうためにプロジェクターを使う方がいいのかどう
なのかを、その都度考えて、これからも効果的にプロジェクターを使っていきたい。
- ・項目6から、子どもたちは、パソコンを使う授業が好きであることが分かった。来年度から、タブ
レットの数も増えるため、調べ学習や話し合い学習にも積極的にパソコンやタブレットを使用して
いきたい。
- ・項目7が全体的に低評価の傾向にあった。学校図書館司書教諭と連携し、図書館の資料を積極的に
用い、子どもが自ら主体的に調べることができるようにしていきたい。
- ・項目7にあてはまらない子どもが、予想以上に多かった。パソコンの普及で、手軽に何でも調べら
れるからだろう。自分で苦労して調べ分かった時の達成感を味わわせる工夫が、今後更に必要にな
ってくると感じた。
- ・項目8が全体的に低評価であった。発表しやすい学級づくりをめざすとともに、来年度から導入さ
れる児童用タブレットを効果的に用いて、自らの意見を表明できる場作りを保障していきたい。
- ・項目8で全学年を通してC・Dが多いのは、アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れていく学
校としては最優先して改善すべき点である事だと、教員の共通理解が必要であると感じた。
- ・項目8で、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行い、話し合い活動を積極的に取り入れて
いるにも関わらず、「発表が好きだ」にあてはまらない子どもが多い。いかに子どもたちが自分の
意見を活発に言えるようにするかは、今後の大きな課題である。

(学 年)

	1				2				3				4				5				6			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
1	34	22	1	2	25	28	3	0	34	22	1	1	30	27	2	0	33	25	1	0	34	20	1	0
2	33	19	5	2	39	12	4	1	38	18	2	0	39	19	1	0	38	17	3	0	35	17	3	0
3	57	2	0	0	47	4	2	0	51	3	3	1	49	8	1	1	44	13	1	1	43	7	4	1
4	39	10	7	3	36	14	5	1	41	9	6	2	49	9	0	1	47	9	2	1	36	12	6	1
5	46	11	2	0	45	10	1	0	43	12	3	0	38	17	3	1	44	12	2	1	41	9	4	1
6	53	4	1	1	49	7	0	0	48	6	4	0	54	3	1	1	52	4	3	0	41	11	2	1
7	47	10	1	1	31	14	7	4	33	14	9	2	35	18	5	1	28	24	6	1	18	19	14	4
8	21	24	11	3	26	15	10	5	24	21	10	2	22	21	15	1	20	19	16	4	13	15	21	5
9	19	16	6	18	32	12	8	4	35	15	7	1	29	15	13	2	26	23	10	0	25	20	9	1
10	34	15	8	2	34	14	6	2	30	22	5	0	30	21	6	2	29	21	9	0	29	22	3	1
11	42	16	1	0	38	14	3	1	46	10	2	0	45	11	3	0	40	13	3	0	33	17	5	0
12	26	23	7	3	29	20	6	1	30	21	4	2	32	18	7	2	31	23	5	0	18	26	10	0
13	39	16	3	1	35	15	1	4	47	5	5	1	40	16	2	1	35	20	4	0	31	18	6	0
14	51	4	4	0	44	8	4	1	33	15	7	3	38	16	2	3	34	22	3	0	26	24	1	4

【1年】

- ・項目3・5が高評価であったことから、ICT機器を用いて、教員が分かりやすい授業になるように工夫していると子どもが感じていることが分かる。このことが、項目14「授業は楽しい」の高評価にもつながっていると考えられる。低学年のうちに、授業の楽しさが感じられるよう、今後も授業の工夫をし続けたい。
- ・項目9「係や班の仕事をする時に、意見を言っている」が他学年に比べて顕著に低評価であった。係活動や班活動を教員の指示のもとこなすだけではなく、友達と意見を交わしながら学級活動を運営していけるように、1年生のうちからその基礎を醸成していきたい。

【2年】

- ・項目3・5・6・14が高評価であったが、パソコンなどを使った授業が分りやすく楽しく、関心を持っていることが分かる。今後も、ICTなどを積極的に使用し、子どもの学習の定着を促していきたい。
- ・項目7・8・9の低評価が2割ほどおり、声も小さく、自分の意見に自信が持てずに、意見を伝えることが苦手な子どもがいることが改めて分かった。今後、話し合い活動の経験を増やしたり、調べ学習などから、意見の根拠をもち自信を持って発言できるようになってほしい。

【3年】

- ・項目3・13の評価が高く、子ども達が教員の指導に対して、前向きにとらえていることが分かる。
- ・項目7・8の評価にばらつきがあるので、子どもたちが能動的に学習を進めていくための働きかけが必要といえる。
- ・聞く態度を重視して指導を進めてきたので、項目1・2の低評価が少ないことを見ると、子ども達も教員の指導を意識し、実践してくれていると考える。

- ・項目12・14で高評価が多いので、自らの疑問が解けることが子ども自身の喜びとなるように今後も指導方法に工夫を加えていきたいと考える。
- ・項目4・8・14でC・Dにチェックした児童が居る。この人数は10人程度であるが、6人に1人の割合であることから、班で1人はこのような思いで授業を受けていることを意識しなければならないと感じた。また、この項目に対するC・Dの児童が少なくなるために、話し合いや発表の場を与える事は続けつつも、どの子も楽しいと思えるような手立てや仕掛けを考えなければならない。

【4年】

- ・授業中、積極的に発表する子どもはたくさんいるが、みんなの前で発表することが好きではない子ども、恥ずかしいと思っている子どもも多い。みんなの前で気楽に話す練習をさせたり、クラスの雰囲気作りに気を付けたりしなければならない。
- ・係や班での仕事の時に意見を言いにくい子どもが多数いることが分かった。これは、数人の子どもの意見に左右されているということを表しているのだろう。係の仕事や班活動というクラス作りで大切な内容が、円滑に進むよう心掛けていかなければならない。
- ・ペア学習やグループ学習での話し合いが楽しいと感じている子どもが多いということは、現在進めている本校の研究の成果が出ていると考えられる。主体的・対話的で深い学びが得られるよう、これからもペア学習やグループ学習をどんどん取り入れていきたい。
- ・日々考えて行っている授業を、たくさん子どもたちが、「分かりやすい授業になるよう工夫してくれていると感じてくれている」ことは、我々の励みになった。これからも、子どもたちが分かりやすいと感じてくれる授業を追求していかなければならない。

【5年】

- ・意見や考えがあっても発言できていないと感じている児童が散見される。ICTの活用など、子どもたちが今までよりも抵抗感なく意欲的に発言できる手立てがあるとよい。
- ・主体的、対話的で深い学びの実現に向けて、調べたことをまとめ、発表する学習課題を設定していきたい。
- ・ペア学習やグループ学習が、子ども達の意欲を引き出したり、お互いに刺激を得られたりする学習であることがうかがえる。

【6年】

- ・項目8「みんなの前で発表することが好きだ。」の評価が低いのは、周りの目を気にして、積極的に発表することができない現状を表している。しかし、項目2「先生や友達は、最後まで発表を聞いてくれる。」の評価が高いように、発表してみると、周りはしっかりとそれを受けとめてくれている。自信を持って、自分の考えを言える子たちを育てていきたい。
- ・項目7「図書館の資料を使って調べる学習が好きだ。」の評価が低いのは、家庭でもパソコンを使用する子が増え、インターネットで検索する方が楽であるという理由からだと考えられる。しかし、

多少苦勞してでも、本を使って調べることによって、将来の知識へとより深くつながっていくのだという意識をもてるようにしていきたい。

・項目 1 2「分からないことは、質問する等して解決した。」、項目 1 3「授業で自分の分からなかったことが分かるようになる。」の評価が低いのは、進学に向けて、学習する量も増え、それに対応しきれていないということだと思う。子どもに限らず、教員も、テスト等を通して把握した苦手分野については、復習を繰り返す等して、分かるようになるまで根気強く指導していく必要があると感じさせられた。

【 保 護 者 】

- 1. 学校は、子どもが意欲的に学習できるように取り組んでいる。
- 2. 学校は、子どもが学習内容を理解できるように取り組んでいる。
- 3. 学校は、子どもが学習したことについて考えを深められるように取り組んでいる。
- 4. 学校は、子どもの表現が伸びるように取り組んでいる。
- 5. 学校は、パソコンの使い方などの情報教育に力をいれている。
- 6. 学習内容やその定着について、学校と家庭は協力しながら取り組んでいる。
- 7. 子どもは、授業中、恥ずかしがらずに堂々と自分の考えを発表できている。
- 8. 子どもは、授業中、先生や子どもたちの話をしっかりと聞いている。
- 9. 子どもは、学習したことに関心を持ち、自分から調べている。
- 1 0. 子どもは、ノートなどに字を丁寧に書いている。

	A	B	C	D
1	121	93	12	3
2	110	101	15	2
3	98	101	28	3
4	102	96	26	5
5	104	94	26	3
6	88	97	38	6
7	73	101	48	6
8	88	109	27	4
9	40	102	73	13
10	58	93	52	26

(全 体)

- ・子どもたちが学習内容をよく理解しようとし、意欲的に学習に取り組む様子がうかがえる。
- ・基本的な学習課題の理解にとどまらず、より深い学びが実現できる授業実践への研鑽が必要だ。
- ・子ども達が自分の意見や考えを友達にわかりやすく伝えたり、まとめたりする力をつけることがより必要だと感じた。
- ・自他共に見やすい丁寧な文字を書く習慣をつけることが必要だと改めて感じた。特に、最低限、漢

- 字の学習は丁寧に書けるように指導していくなど、学校としての共通理解を図りたい。
- ・子どもたちが授業中に恥ずかしがらずに考えを発表できる学級づくりをめざしていきたい。
- ・子どもたちは、授業中恥ずかしがらずに自分の考えを発表できていると教師は考えている。しかし、保護者がそう感じていないということは、参観日など特別な時にはできていないということだろう。どんな場でも、恥ずかしがらず自分の考えが発表できるように工夫していかなければならない。
- ・学習したことに関心を持ち、その先を調べようとする子どもを育てるには、教師の声かけや働きかけがとても大切である。教えなければいけないことだけにとどまらず、その先を考えた子どもへの働きかけを常に意識しなければならない。
- ・子どもが意欲的に学習できるよう、表現が伸びるよう取り組んでいるという内容について評価が高かったことに自信を持ち、更に子どもの力を伸ばしていくように授業を組み立てていかなければならない。
- ・子どもが学習内容を理解できるように取り組んでいるという内容について高い評価をいただいたことは嬉しいことである。授業について来られない子どもを作らないように、これからも授業計画をしっかり立て、毎時間の授業に臨まなければならない。
- ・関心を持ったことを「自分から」「調べる」ことが少し弱いように思う。今後、様々な調べ方を学び、活用させていきたい。